

心配事・困り事、関心事は「老後の不安」がトップ、

2005年県民意識調査結果 「雇用や職場環境」は3年連続減少

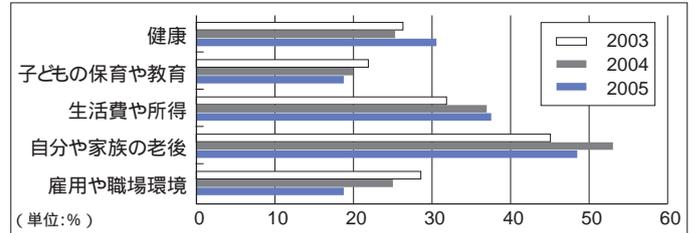
意識調査は、「政策・制度要求と提言」を提出するにあたり、その確かな裏付けとなるデータとして活用を図るとともに、構成組織組合員をはじめ県民の多くのニーズを把握するために毎年実施しています。

今年の意識調査は、さらなる影響力を高める取組みとし多くの皆様の協力を得て、昨年の5600部を大きく上回る9435部を集約することができました。

ここでは、その中で毎年同じ項目で設問している『心配事・困り事、関心事』（10項目中2つ選択）上位5項目の3年間の比較を紹介します。

項目の中では、「自分や家族の老後」（48.1%）の値が最も高く、昨年に引き続き今回もトップになっています。全体的に見てみるとこの上位5項目の順位は毎年変わっていませんが、3年間の比較を見ると「雇用や職場環境」（19.3%）は昨年対比で-4.8%と年々減少傾向となっています。このことは企業の構造改革がある程度落ち着いたのではないかと、また行政の雇用対策の取組みが一定の効果として表れたものではないかと推測され、直近の県内の有効求人倍率（2ヶ月連続で1倍超）が示す通り、全体的には回復の兆しがうかがえます。

心配事・困り事・関心事における3年間の推移



しかし、一方で中小企業など「まだまだ職場環境は厳しい」といった組合員の声もささやかれ、依然雇用環境は厳しさが残っているといえます。

その他、詳細については連合群馬HP【集計結果報告書】の概要版をご覧ください。

『2005年政策フォーラム』開催のお知らせ

日時/9月3日(土) 9:30~11:30

会場/群馬建設会館

内容/政策・制度要求の実現に向けた取組み結果や、県民意識調査の結果報告も行います。

『女性委員会・男女平等に関わる課題や現状を再確認 男女平等参画推進委員会合同セミナー』開催

6月11日~12日にプラス音羽倶楽部において『女性委員会・男女平等参画推進委員会合同セミナー』を2日間に亘り開催し、14名が参加しました。

今回のセミナーは6月男女平等月間として開催し、来年2月に改正案が国会へ提出される「男女雇用機会均等法」の歴史と連合が要求する改正案のポイント学習、連合群馬男女平等参画推進計画の進捗状況報告、女性委員会の活動状況報告、NHK・プロジェクトX「女たちの10年戦争」-男女雇用機会均等法の誕生-のビデオ上映、富岡由紀夫参議院議員を囲んでの国政報告会と意見交換会、群馬県次世代育成支援対策推進行動計画『ぐんま子育てビジョン2005』の概要説明および計画策定の背景や計画の基本的な考え方について学習しました。

最後の全体討論では、「今後はこのようなセミナーを広く組合員に呼掛け開催して行く事が必要。」など様々な意見が出され、今回学習したことを組織に持ち帰り、男女平等に関わる課題を広めていくことを全体で確認しました。



青年委員会 第2回 ボウリング大会 元気に開催!



優勝チーム



左から 小川さん、内田さん、神宮さん、岩井さん

6月11日(土)伊勢崎イモンボールにおいて、連合群馬青年委員会主催の第2回ボウリング大会を開催し、12産別71名が参加しました。

今回は、より多くの青年組合員に参加してもらいたいという思いで、昨年の高崎会場から伊勢崎会場に変えて開催しました。当日は、組織混合チーム対抗戦で、ゲーム開始とともに仲間と打解けて、ボールを投げるたびに一喜一憂し、大変盛り上がりました。

優勝チームは、神宮俊也さん(電機連合・東芝機器労組)、小川昌子さん(UIゼンセン同盟・カネボウ労組新町支部)、岩井龍也さん(情報労連・小倉クラッチ労組)内田浩敬さん(自動車総連・日立ユニシア労組)の4名です。